



学校便り 7月号

# かけはし

薩摩川内市立里小学校 薩摩川内市里町里 1601 TEL 09969-3-2008  
発行 令和4年7月19日 責任者 校長 永野 俊也

学校HP 学校ブログ



## 人生100年時代をどう生きるか

～1学期のデータから今後の指針をどう導くか～

校長 永野 俊也

6月21日開催された第1回学校保健委員会の「学校長あいさつ」でタイトルに掲げた話をしました。現在日本人の平均寿命は、男性が81.64歳、女性が87.74歳ですから、子供たちが生きていく時間を考えると、医療技術の進歩により人生100年と考えた方がよい。そうすると、小学校6年間の生活習慣や運動習慣は、その後の人生を大きく左右するのではないかというお話です。

学校の経営方針を決める際にも、子供たちの学力はもとより健康や体力のデータをとても注視します。昨年度目に留まったデータは、口腔環境についてでした。

むし歯のない中1生徒の割合を58%にするという県の目標に対し、R3年の本校6年生は、18.2%。乳歯から永久歯に生えかわる時期とはいえ、かなり低い数字です。また、中1生徒の歯肉炎の割合を20%以内にするという県の目標に対し、本校6年生は、72.8%に歯肉炎が見られるという状況でした。これは幼稚園から積み重なって小6に表れている数字です。

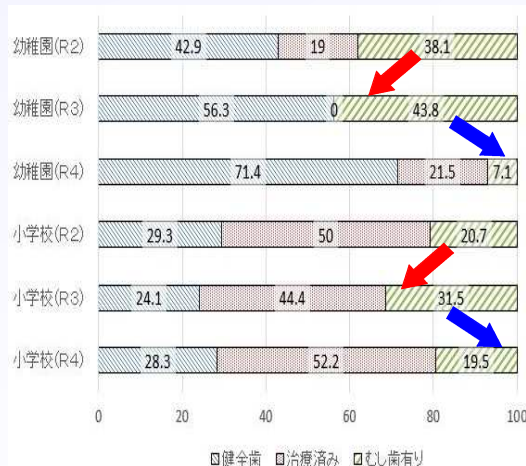
こんなに素敵な学校なのに・・・これは大変だと思い、1学期の途中から重点課題として保健主任である養護教諭と、まずできることとして、**歯科治療率を100%にする**。ということと合わせて、ブラッシングの個別指導を含め歯科指導に力をいれてもらいました。各担任の先生方の働きかけや保護者の方のご協力もあり、歯科治療率100%は達成され、その成果は左図のように現れています。ただこれはまだ、入口にすぎません。最終的な目標は、

**100歳まで自分の歯を残す**

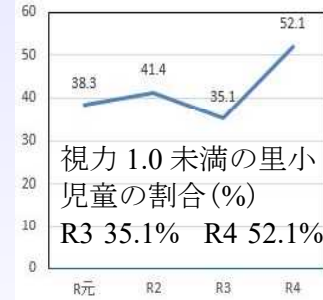
であり、そのためには、

永久歯に生えかわるまでに良好な口腔環境を維持できる生活習慣を身につけさせる。要は、**永久歯に生えかわるまでが勝負**

ということになります。歯科治療率が100%になっても、歯と歯茎を守る生活習慣が身につけていなければ、まるでもぐらたたきのように、虫歯と治療を繰り返してしまいます。それが永久歯に及ぶ前に食い止めたい。簡単ではありませんが、およそ2年でこの目標を達成したいと考えます。



これから夏休みを迎えますが、学校にいる間と異なり、家庭にあってはいつでも甘いものなど口に入れながらの生活が可能となるかもしれません。そこで家庭との連携協力が大切になります。食事やおやつなど、食べたら歯磨きやうがい等で、糖質や酸性過多とならない口腔環境維持に心を配っていただければと思います。私たちが役割を終え、子供たちの世代へバトンを渡した後、80歳、90歳になってもバリバリ美味しそうに食事を食べる子供たちの姿を空の上から、よしよしと眺めている私たちの姿を想像します。そうなりますように。↑



もう一つ気になるデータを伝えておきます。昨年度は、GIGA スクール元年として、日本全国全児童生徒に1人につき1台タブレット PC が準備され活用が始まりました。その影響か定かではありませんが、左図の通り、視力の低下が顕著となっています。これに対しても手立てを講じなければなりません。

校医さんから指摘を受けた猫背の問題についてもそうです。そのほか学力について、体力についてと様々なデータを基に、2学期の学校経営について指針を立て新学期を迎えることとなりますが、詳細については9月16日に予定されている学校運営協議会でお伝えし、信任を得つつ進めていくこととなります。地域と共にある開かれた学校、子供たちの明るい未来に希望が持てる学校として、そこで示す今回書けなかった内容についてもどこかの機会であらうと思います。

## 里の魚から学ぼう

7月13日(水)は、「里の魚から学ぼう」の学習を実施しました。今回も、甌島漁協青年部の方々に御協力をいただき、マダイの稚魚の放流を体験させていただきました。

当日は天気もよく、4隻の船に分かれて乗り込み、無事に放流を行うことができました。子供たちにとって、貴重な体験となりました。



8月行事	
11日(木)	山の日
12日(金)	15日(月)・16日(火) 学校閉庁日
19日(金)	出校日
21日(日)	P.T.A美化作業

8月12日(金)・15日(月)・16日(火)は、学校閉庁日とし、学校を閉めることとします。御理解・御協力をよろしくお願いします。